

議 長 日程第8「議案第49号平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）」について、町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第49号平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）。平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,140万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億994万5,000円とする。2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成30年9月4日提出、松田町長 本山博幸。よろしくお願ひいたします。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

福 祉 課 長 それでは、御説明させていただきます。平成29年度の介護保険事業の実績の見込みが立ち、一般会計繰入金、一般財源となる繰越金の受け入れ、特定財源の精算償還と介護保険法の改正に基づくシステム改修費が今回の補正の主なものでございます。

それでは、歳入歳出事項別明細書により説明いたします。8、9ページをお開きください。歳入から説明いたします。款3、項2、目4事業費補助金は、歳出の町村情報システム共同事業組合システム改修費負担金208万4,000円の2分の1を国庫として歳入するものでございます。

款6、項1、目1介護給付費繰入金、以下、目2その他一般会計繰入金、目3地域支援事業費繰入金、目4地域包括支援センター事業費繰入金、目5低所得者保険料軽減繰入金を合わせて補正額58万6,000円の減は、先ほど一般会計補正予算で御議決賜りました介護保険事業特別会計繰出金と同額を減額するものでございます。介護給付費に対する町の公費負担割合12.5%となりますので、目1介護給付費繰入金、節1現年度分介護給付金は、前年度における受け入れ額との差額653万5,000円を補正して精算するものでございます。目2その他一般会計繰入金、目4地域包括支援センター事業費繰入金におけるおのおのの職員給与費等繰入金、事務費繰入金につきましては、前年度実績による精算など

に係る補正でございます。目3 地域支援事業費繰入金、節1 地域支援事業費繰入金の説明欄、介護予防・日常生活支援総合事業地域支援事業費繰入金については12.5%。その下段、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業費繰入金につきましては、19.5%を実績に応じ精算させていただくものでございます。

款8、項1、目1 繰越金は、前年度の実質収支見込みが6,094万8,592円となりましたので、当初予算との差額5,094万8,000円を増額補正させていただくものです。

次のページをお願いいたします。歳出について説明いたします。款1、項1、目1 一般管理費は、介護保険法の改正に伴うシステム改修のため、負担金を208万4,000円増額するものでございます。

款2 保険給付費と、次ページをお願いいたします。款5 地域支援事業費につきましては、歳入の一般会計繰入金の減額に伴う財源補正でございます。

10ページ、11ページにお戻りください。款4、項1、目4 償還金につきましては、平成29年度の実績額が確定し、特定財源を精算し、返還するものでございます。介護給付費は、前年度実績額により国庫負担割合は施設等給付費15%、居宅等その他サービス給付費20%で、過年度分返還金として628万3,000円。地域支援事業につきましても、介護予防・日常生活支援総合事業につきまして、国庫が20%、その下、支払基金は28%、県費は12.5%、次ページですが…すいません。それぞれの割合により、精算した額と前年度交付受入額の差を返還するものでございます。

次ページをお願いいたします。款7、項1、目1 予備費につきましては、前年度の繰越金補正分と、繰入金補正額及び償還金の差額として、4,600…すいません。3,950万3,000円を増額して計上しております。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。
3 番 井 上 介護保険のですね、繰越金の補正が、ここです、5,094万8,000円ということ。介護保険料の改定は30年度からということで、よろしかったですね。そうしますと、5,094万8,000円の繰り越しの補正で、合計の繰越金が

6,000万に上る…6,100万近くですね、の補正…繰り越しの金額になるということで、これについてはですね、平成29年度までの前期の介護保険料の計画の中で、これだけの積み残しはもう想定をされたもので、今回ここで5,000万円…5,100万円余りの補正が行われたのか。そうすると、平成30年度からの3カ年の介護保険の事業計画の中で、当然…初年度はですね、30年度は介護保険料の中で低い額。だんだん中期の31年度、32年度ということで、だんだん事業費としては多くなるというのが計画の見込みだと思いますけれども、その辺の見込みにですね、ふさわしい額の繰越金となってるのか。その繰越金…事業費の3カ年の財源としてですね、予備費が一般会計の予備費よりも多い、4,900万円という額になっています。それは、介護保険事業計画の第2年目、3年目の財源として、当初計画の中で想定されていた、そういう繰り越しの財源としてですね、そのものなのか。それとも、やはり介護保険のほうの事業費の支出が少なかったために、平成29年度分ですね、事業費の伸びが少なかったために、当初見込んでいた計画の中の事業費との差異がここで出たのか、そのいずれなのかを説明をお願いをしたいと思います。

福 祉 課 長 ただいまの御質問にお答えしたいと思います。平成30年から32年までの保険料を決めるに当たってですね、シミュレーションをしたわけなんですけれども、その中で今、基金が4,000万ほどあります。その基金は全て取り崩すということで計算しております。繰越金については、当初…ちょっと正式な額は忘れましたが、2,000万ほどは見込めると。29から30に行くに当たって、2,000万ほどは見込めるという算段ではありましたが、実質は若干多く保険料を使わないで済んだというところがありますので、繰り越された形になります。そうしますと、3年間は保険料確定しておりますので、ここから大きな伸びがない限りはですね、基金のほうを使わないでも、ほぼ同額でありますので、いけるのかなというのがあります。ただ、2000…2020、団塊世代が全員後期になる。その部分がありますので、そこも踏まえた中で、第8期ですね、のときには、やはりその辺も見据えた中での計算をしなければいけませんので、ある程度予定よりは若干余裕はあるというようなお答えをしたいと思います。

3 番 井 上 としますとですね、介護保険料のほうの事業計画では、繰り越しが2,000万

円だったのが、ここで6,100万円ぐらいということで、4,000万円の繰り越しが余分にですね、出たということは、いわゆる29年度での事業費が少なかったと。4,000万円もですね、少なかったという理解でいいのか。そうだとすれば、なぜそんな4,000万円という額の事業費がですね、介護保険サービス等のですね、利用が少なかったというところの原因というのがわかればですね、教えていただきたいと思います。

福 祉 課 長 非常に難しいところなんですけれども、やっぱり一つはですね、3年間ですね。単年度の繰り越しだけではなくて、第5期ですかね。前の27、28、29の1期分、そこの部分の、何ていうんでしょうか、繰り越しがきておりますのでね、途中で基金も積んでおりますけれども、それを含めてなっております。やはり、当初介護保険を…介護サービスを使わなければならなくなるのではないかと想定した人数よりは…人数というよりは、サービス費よりはかからないで済んだというふうに考えております。

3 番 井 上 その辺はですね、やはり元気な高齢者、さまざまな福祉施策、介護事業の施策の中でそういったサービスを利用しないで済むように、谷戸の集会施設等のですね、利用とか、さまざまな介護サービスの中での利用が、そういった結果に基づいたというふうに理解をしたいと思います。今後ともですね、よろしく…介護保険のほうの精査についてはですね、よろしくお願いをしたいと思います。以上です。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。議案第49号平成30年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。